

進路だより

発行：平成26年10月17日

1 スコラ手帳について

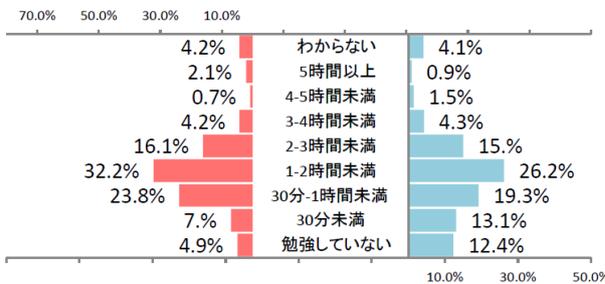
中等教育学校後期課程が発足後、連絡帳に変わる手帳として、スコラ手帳を使用しています。7月に成長実感アンケートを実施しました。全国集計結果も含めてお知らせします。このスコラ手帳の導入には、次のような3つの重要な目的があります。

- (1) 計画を立てて学習に取り組むこと。
- (2) 学習しないといけない項目を整理すること。
- (3) 学習を記録すること。

これらをスムーズに実行するために、スコラ手帳は導入されています。

① 学習時間について（4 学年）※（左が本校、右が全国平均）

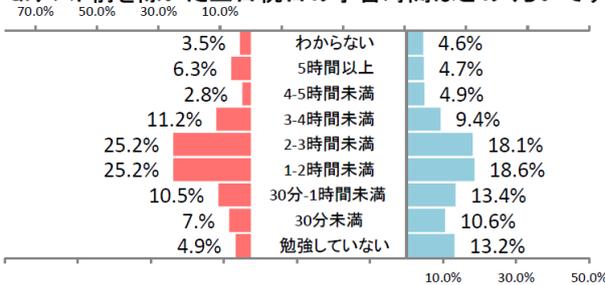
Q. テスト前を除いた平日の学習時間はどのくらいですか？



Q. 1日の家庭学習時間がどの程度増えましたか？

回答	人数	貴校 (%)	全国 (%)
10分程度	4	2.8%	4.5%
20分程度	15	10.5%	4.6%
30分程度	15	10.5%	11.8%
1時間程度	18	12.6%	7.8%
2時間程度	0	0.0%	1.6%
3時間程度	0	0.0%	0.5%
4時間程度	1	0.7%	0.2%
5時間以上	2	1.4%	0.3%

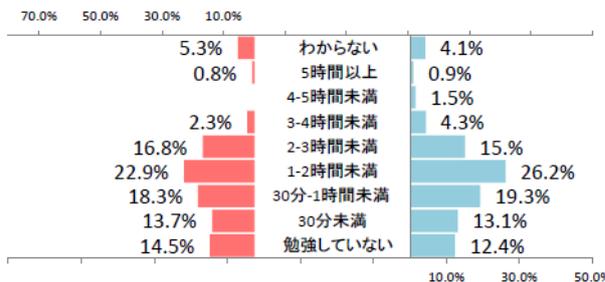
Q. テスト前を除いた土日祝日の学習時間はどのくらいですか？



■ 貴校 ■ 全国

② 学習時間について（5 学年）※（左が本校、右が全国平均）

Q. テスト前を除いた平日の学習時間はどのくらいですか？

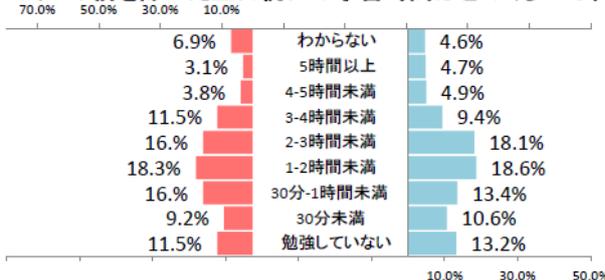


Q. 1日の家庭学習時間がどの程度増えましたか？

回答	人数	貴校 (%)	全国 (%)
10分程度	3	2.3%	4.5%
20分程度	6	4.6%	4.6%
30分程度	14	10.7%	11.8%
1時間程度	9	6.9%	7.8%
2時間程度	2	1.5%	1.6%
3時間程度	2	1.5%	0.5%
4時間程度	0	0.0%	0.2%
5時間以上	1	0.8%	0.3%

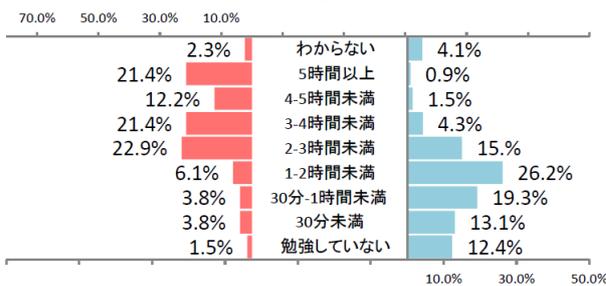
■ 貴校 ■ 全国

Q. テスト前を除いた土日祝日の学習時間はどのくらいですか？



③学習時間について（6 学年）※（左が本校、右が全国平均）

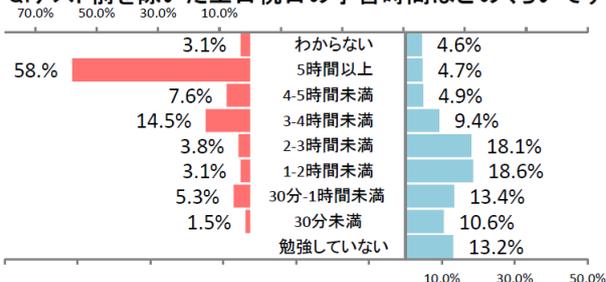
Q. テスト前を除いた平日の学習時間はどのくらいですか？



Q. 1日の家庭学習時間がどの程度増えましたか？

回答	人数	貴校 (%)	全国 (%)
10分程度	2	1.5%	4.5%
20分程度	2	1.5%	4.6%
30分程度	3	2.3%	11.8%
1時間程度	6	4.6%	7.8%
2時間程度	6	4.6%	1.6%
3時間程度	3	2.3%	0.5%
4時間程度	3	2.3%	0.2%
5時間以上	3	2.3%	0.3%

Q. テスト前を除いた土日祝日の学習時間はどのくらいですか？



■ 貴校 ■ 全国

①、②、③の結果からさすがに、6 学年になると日々の学習時間をしっかり取れている様子が分かります。休日の5時間以上の生徒が過半数を超えています。さらに、平日に5時間以上学習時間を確保できている生徒も5分の1以上います。この努力は確実に進路実現につながります。一方、6 学年になって慌てて学習時間のみ増やしても、学習の質は高まりません。4 学年、5 学年のうちから、まずは、学習習慣をつけ、そして徐々に学習の質を高めることが大切です。早いうちから学習習慣のついた生徒と、慌てて学習時間を増やした生徒では、同じ1時間の学習でもその1時間で行った学習の量と学力として身についた知識の量に大きく差が出ます。特に、5 学年になり、4 学年へ進級した緊張感が薄れ、学習時間が減少している層が気になります。平日の学習時間0分の生徒が9.1%から14.5%へ、休日の学習時間0分の生徒が7.7%から11.5%に増加しています。自分で記録をとり、自分で自分を律し、はやく学習面での自立をむかえましょう。

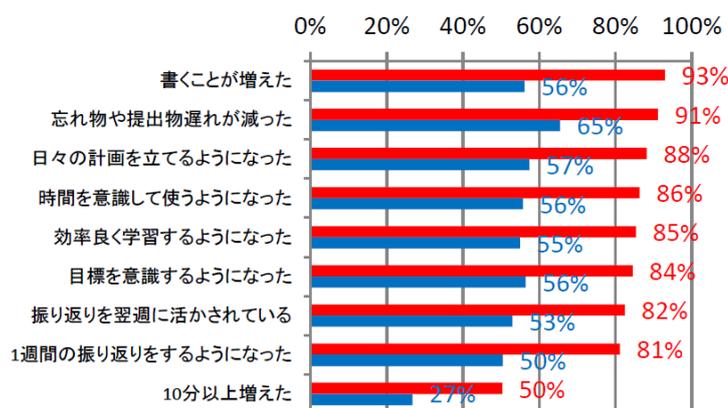
④ 手帳に記録すること

すでに多くのメディアに取り上げられていますが、手書きで記録することが、様々な点で効率を上げます。次のグラフは、手帳を使用している生徒とあまりしていない生徒の比較です。一目瞭然ですが、手書きで記録する効果が現れています。今は、できる生徒は手書き記録の時代です。朝と帰りのSHR 以外に普段から手帳を開く癖をつけましょう。

※上段が1日に手帳を3回以上開く生徒、下段が1日に手帳を2回以下しか開かない生徒。

1日にスコラを開く回数が

■ 3回以上の生徒 と
■ 2回以下の生徒 の比較



2 手帳甲子園について

スコラ手帳を活用している生徒は、手帳甲子園に応募できます。平成 26 年 10 月 31 日(金)までに、取り組み部門か個人部門で応募してください。詳細は下記のアドレスを参考にしてください。個人部門は自分独自の使い方やルール、継続的に手帳を使う工夫などの活用度が審査されます。学校から応募しますので、応募を検討している生徒は、学年の進路指導係の先生に相談するか進路指導準備室まで来てください。

手帳甲子園のアドレス http://www.noltyplanners.co.jp/scola/koushien_2014_entry.html